

床暖房用

施工マニュアル

施工の際には本マニュアルをよくお読みの上、正しい施工をよろしくお願いいたします。

●お取り扱いについて

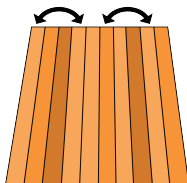
- ・直射日光や雨を防ぎ、湿気の少ない場所に水平に置いて保管して下さい。
- ・明らかなキズ・割れなどがある場合は、長尺のまま保管し、担当者にご連絡下さい。
- ・サーモウッド加工品には特有のいぶしたような匂いがありますが、時間とともに無くなります。



●施工前の注意点

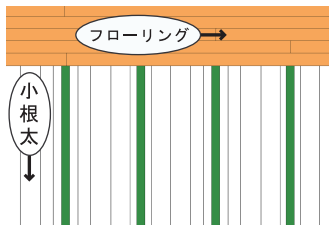
- ・下から「大引き→根太→耐水合板→温水パネル→フローリング」の順で施工します。(下図参照)
- ・大引き：90mm角以上の乾燥材・909mm間隔
- ・根太：45mm角以上の乾燥材・303mm間隔 ※根太上面はブレナーやかんなで仕上げて下さい。
- ・床下は湿気が多いので、必ず換気口を設けて下さい。
- ・給排水の配管や空調ダストの位置には注意して下さい。

■ 施工時の注意



天然無垢材ですので、1枚1枚が異なる木目・色合いを持っています。偏りのないように、全体をバランスよく貼って下さい。
※ 施工前の仮並べをおすすめ致します。

フローリングは根太と直行するように施工して下さい。



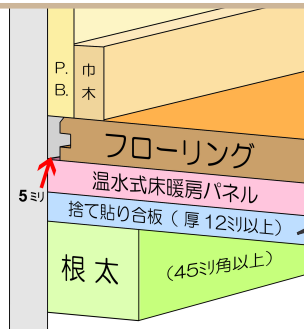
小根太

壁からは5mmほど隙間を空けて、巾木などで隠して下さい。

捨て張り合板下地：

- ・厚み12mm以上の「耐水合板」(F☆☆☆☆推奨)を使用して下さい。
- ・段差ができないよう注意して下さい。
- ・合板の乾燥をご確認下さい。

※床下の湿気が多い場合は、捨て張り合板の下に防水シートを敷き込んで下さい。



- ・掃きだしサッシ際での収まりでは、結露水が木口面に浸透することがないように、サッシアングル内で5mmほどの隙間をとり、コーキングを充填して下さい。
- ・床材の貼り込みは軽く当てる程度で行って下さい。
- ・貼る時の季節、湿気・温度を考慮しながら貼って下さい。

●接着剤



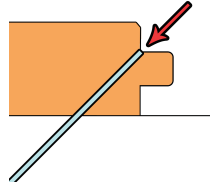
- ・推奨接着剤：横浜ゴム「ハマタイト ECU-193」(F☆☆☆☆)
- ・推奨接着剤を使用しない場合は、ウレタン系の床用接着剤を使用して下さい。
- ・木工用ボンドは硬化して床鳴りの原因となりますので使用しないで下さい。
- ・仕上げ後の表面に段差が出来ないように接着剤の厚みには注意して下さい。

材質上フローリングのサネの間に接着剤を入れ込む必要があります。
(床鳴り防止のためです。適量を調整してください)

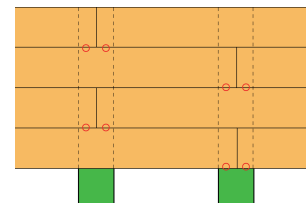
●釘打ち

- ・フローネイルまたはフローステابلを床暖房パネルの小根太上(または釘打ちスペース)に、200~303mm間隔で打って下さい。(フローネイルの場合は下穴を開けて下さい)
- ・約45度の角度で、左右にぶれることのないように正面からサネ部へ打ち込んで下さい。左右にぶれるのある打ち込みではフローリングをしっかりと固定できず、またパネル内の温水管に穴を開ける恐れがあり、フローア下での水漏れの原因となります。

打ち込む角度は45度



左右にぶれない



木口継ぎは小根太の上で行い、両端部は割れやすいので注意して釘打ちして下さい。

- ・フローリングにビス止め・釘打ちする際は、ワレを防ぐために必ず下穴を開けて下さい。
- ・施工後の養生に使用する養生テープは、特に粘着力の弱い物を使用して下さい。表面が剥がれたり、両面テープの糊が残ることがあります。
- ・仕上げのワックスにはりボス社製天然ワックス・クリーナー「グラノス」を推奨いたします。